

助成・寄付寄贈報告

※ 利用者様より 放課後等デイサービスみつばちへ 書籍の寄贈

～ 皆様に厚く御礼申し上げます ～

・ 掃除機、子ども用自転車の寄付をいただける方を募っております。ご不要の物がありましたらご協力をお願い申し上げます・

研修会・講演会のご案内

◆ 定期研修会「Be サポ事例研究会」

専門職向けの研修会です。日々の業務の中で、対応や方向性に迷うことはありませんか。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思っております。

日時：原則、毎月第3水曜日 18:30～21:00

場所：沼津市商工会議所 4階会議室D

参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000円/1回

参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。

初めて参加される方はBe サポートまでご連絡ください。

今後の予定：6/18,7/16,8/20,9/17,10/15,11/19,12/17,1/21,2/18,3/18 変更の場合には随時メールでお知らせします。

※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）の申請を予定しています。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業

カウンセリング、プレイセラピー、EMDR、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力

母子保健事業（乳幼児健診・発達相談・療育教室）

：伊豆市・伊豆の国市・清水町・長泉町

教育委員会（就学支援・特別支援教育・巡回相談）

：函南町・清水町・伊豆市・長泉町

市民メンタルヘルス相談：伊東市・富士市

県および市町主催ゲートキーパー養成事業

高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー

看護学校スクールカウンセリング

NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター

社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業

東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

不登校・ひきこもり支援事業

沼津市：東部圏域 居場所「なごみ」（県委託事業）

伊豆市：伊豆圏域 居場所「とっこ」（県委託事業）

企業・事業所への支援事業

メンタルヘルスカウンセリング

企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業

専門職対象の定期研修会開催

一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業

障害児・者総合サポートセンターみつばち

-----沼津市-----

保育所等訪問支援 / 児童発達支援「あんず」

放課後等デイサービス「かりん」

-----伊豆市-----

みつばち伊豆 放課後等デイサービス「みかん」

相談支援事業

指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び～さぼーと」

特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポート

クローバー通信

2025年6月5日発行 Vol.38

NPO 法人 臨床心理オフィス
Be サポート

〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201

Tel/Fax 055-925-1701

Mail bersapo@mail.wbs.ne.jp

HP <http://be2011.jimdo.com/>

発行責任者 皆川行寛

『 学校現場におけるスクールカウンセラーの役割 』

Be サポートスタッフ 早田公子

三十数年間の教員生活を終え、公認心理師として仕事を始め 3 年目を迎えました。現在、小学校・中学校・高校・専門学校でスクールカウンセラーを担当しています。学校現場には長年勤務していたのですが、立場が異なるとまた違う見え方になるのを感じます。教員は年間目標、単元目標、当日の目標と細かく目標と指導計画を立て、児童生徒の反応を想定し、いくつもの対応を考えて、児童生徒の力を伸ばすことができるようにと臨みます。一方、スクールカウンセラーとして接する場合、私は敢えてあらかじめ準備をすることはしないようにしています。なぜなら教員だった経験から、こちらの思い描く計画に合わせようとしてしまったり、意図せずとも指導的になったりすることが危険だと感じるからです。カウンセラーとその方との接点は 1 回限りかもしれませんが、何年か継続になるかもしれません。そのような流動的な関係性の中で、こちらの価値観を押しつけるようなことがあってはならないと思っています。その方自身が自分で自分の考えや価値観を見つめられるようにしていくことに寄り添えるようでありたいと考えます。本人が思い描いている願いや希望にどのようにすれば近づいていけるかを一緒に考えていく役割を担っていきたく心がけるようにしています。

小学生のカウンセリングでは、最初は自分では話ができないからとお母さんと一緒に来室してくれるお子さんが多くいます。そしてこちらの問いに対して、お母さんの顔をちらちら見てなかなか言葉にできない様子が見えます。それでもお母さんに見守っていただきながら、答えやすい質問をしてゆっくり待っていると少しずつ返事をしてくれるようになります。回数を重ねると、今日は何を話したいかを自分で決めてきてくれるようになったり、お母さんの同席を必要とせずひとりで話をしにきてくれるようになったりします。そして「これは無理だけど、ここまでなら頑張れそう」と自分から目標を口にしてくれるようになったりします。最終的には「もう大丈夫！」と来室しなくなり、廊下ですれ違った際に手を振ってくれたり、ちらっと笑顔を見せてくれたりする関係になっていきます。このような変化をみると、教員だったときにももっと話を聞いてあげられればよかったと感じることもありましたが、実際にはひとりひとりから 45 分間じっくり話を聴く時間を何度も繰り返し取ることは、教員には不可能だったと思い返します。また子どもたちにとっても「先生」ではないからこそ話せることも多いと感じます。

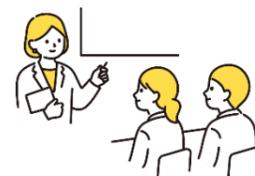
スクールカウンセラーは、お子さんが人生で初めて接する心理職になると言われます。スクールカウンセラーとの関わりがマイナスイメージで残るのではなく、大人になり心の不調を感じるようなことがあったときに、ふとどこかでカウンセラーに話してみようかなと思ってもらえるようなプラスの経験として、お子さんの記憶の隅に残してもらえると嬉しいです。

学校現場では児童生徒と教員の関係は強く重要なものであることは変わりませんが、学校の中でもいろいろな人が子どもたちと関わる多職種連携が広がり、効果的に定着していくことを願うこの頃です。



🌸 なごみメンバーさんの作品です 🌸

第 14 回 Be サポート通常総会 ご報告



5月24日土曜日 18時より、商工会議所 4階会議室にて、第14回通常総会を開催しました。

法人の正会員数 54 名、うち出席 13 名、書面評決による出席 25 名、計 38 名と全体の過半数を超えた出席をいただき、本総会は有効に成立しましたことをご報告いたします。出席された方、書面評決をいただいた方、ありがとうございました。

財政状況は厳しいですが、今年度も地域貢献のために活動してまいりますので、内外のご協力ご支援よろしく願いいたします。

🌸 Be サポート会員募集中 🌸

NPO 法人とは、利益を目的とせず社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなところの問題に取り組んでいます。現在、正会員 54 名、賛助会員 2 名、学生会員 1 名（2025.5 月末時点）で活動しております。

私たちの活動を応援して下さる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員のご登録をいただける方は Be サポート事務所までご連絡ください。

活動報告

みつばち沼津 児童発達支援「あんず」



暖かな春の陽気と共に、新年度がスタートしました。あんずに通ってくる子どもたちも、それぞれの新年度です。ここで会うメンバーはいつもと同じでも、園では新しいクラス・先生・お友達。更に自分よりも小さな子…そんな新学期は、いつもより丁寧に様子をうかがうようにしています。

制作は、季節感も考慮しつつ、できるだけ個々の苦手な作業も取り入れて題材を選びます。5月は「ステンドグラス風こいのぼり」を作りました。どの子も真剣に取り組みました。お手本を忠実に再現する子、ありったけの色を使ってカラフルにしたり、「えっ？この子がこの配色で？」と予想に反した素敵な配色を楽しんだり。完成品を保護者の方に見てもらい「うちの子の作品当て」をしてもらうと、当たったり当たらなかったり。「こっちだったかあ〜！」とお迎え時間の駐車場に楽しい声が響きました。母の日制作は「カンガルーの小物入れ」。表情豊かなママカンガルーが並びました。



順調に通って来てくれるお子さん達ですが、時には活動に参加できないこともあります。ママのお話では落ちついて園で過ごしている…新しい環境でがんばってれば、そのストレスをどこかで発散する必要があります。そんな日には、臨機応変に活動内容を変更します。今日も子どもに寄り添いながら、また一歩成長してくれることを願って活動しています。



みつばち伊豆 放課後等デイサービス「みかん」

2025年4月1日、ピカピカの新1年生5名を迎え、新年度が始まりました。これまでのみつばち伊豆「みかん」史上、同時に5名の新一年生を迎えるということがなかったので、スタッフもドキドキしながら、新年度を迎えました。

1日に利用してくれるお子さんたちが増えたので、机の配置をどうするか、送迎の時間と場所の確認、それぞれの子どもの特性など、スタッフ皆で相談し、受け入れ態勢を整えました。

新年度が始まり、まず感じたことは、これまでみかみを継続利用してくれているお子さんたちの成長です。新1年生への声のかけ方、譲り方など、言動の端々に成長を感じるが増えました。そして、新1年生はみかんの予定やルールを覚えながら、宿題の習慣、片づけの習慣など少しずつですが練習中です。

そして新年度恒例の背比べも行いました。みかんの柱に、それぞれの名前と背の高さを書いています。2年生以上は去年の4月と比べ、どのくらい身長が伸びたのか確認していきます。子どもたち自身も驚いていますが、スタッフもその成長速度に驚くばかりです。新1年生は、この1年でどのくらい心身ともに成長していくのか、とても楽しみです。



みつばち沼津 放課後等デイサービス「かりん」

かりんには色々な種類のおもちゃがあります。その中には根強く人気な物もあれば、しばらく遊ばれていなかったのに、急にみんながこぞって遊び始める物もあります。今回は2部門にわけて、現在人気の遊びをご紹介します。今回は2部門にわけて、現在人気の遊びをご紹介します。

☆ 室内遊び部門 第1位 UNO ☆

しばらく誰も遊んでいなかったのに、現在大ブームが起きていて、どの曜日のメンバーも、くり返しくり返し遊んでいます。このゲームは、勝つも負けるもサクッと決まるのがよいところ。負けるのが苦手な子どもたちも、UNOであればすぐに次のゲームが始まるので、比較的気持ちの切り替えがしやすいように思います。スタッフ視点としては、遊びなので勝つても負けても楽しいという姿を、一緒に参加したスタッフ自身が見せるということも意識しています。

☆ 外遊び部門 第1位 自転車 ☆

自転車は、ここ数年根強い人気を誇っている遊びです。自転車に乗れなかったけど、かりんでお友達と一緒に練習して乗れるようになったという子もたくさんいます。自転車遊びは、体の動かし方の練習、順番に使う練習、自分で貸してと言う練習、ルールを守って走る練習になります。また、他の子とぶつからないように、周囲の動きに気を配ることも必要になります。上手に自転車に乗るには、実は結構いろんなスキルが必要なのです。ちなみに、この遊びはドライブスルーごっこ、警察取り締まりごっこなどに派生していきます。遊びが様々に広がっていくのを見ると、子どもたちの想像力はすごいと驚かされます。



活動報告

伊豆圏域の不登校ひきこもり支援 居場所「とっこ」

居場所「とっこ」は毎週金曜日の午後、主に修善寺生いきプラザを会場として活動しています。活動場所からは狩野川の流れや川沿いの木々が見え、折々の自然を楽しめます。今年は開所日に川沿いの桜が満開で、皆でお散歩に行きました。桜の下をのんびり歩いて、花の写真も撮れました。

冬から春にかけては行事や季節に合わせたワークをやりました。お正月の飾りや早咲きの桜を使った活け花、卒業シーズンには花のコサージュ、プレゼントにできるダイヤモンドアートのコースター等、各々希望のものを作りました。感謝の手紙に添えたいと切り絵を作った利用者さんもありました。



3月には講師の先生をお願いして藍染めをやりました。ハンカチや手ぬぐいなどを糸で縛ったり割り箸で締めたりして模様をつけ、染色液に浸し、糸をはずすまでどんな模様ができるかドキドキでした。利用者さんの個性があふれる面白い作品ができて楽しい活動になりました。

また、クロスワードやナンクロパズル熱はまだ冷めず、スタッフも交えて難問に挑戦しています。一人で考えると行き詰まる難問も、皆で考えると楽しく、解答が進みます。

遠方などでなかなか会場に来られない方も利用しやすいように、電話やメールでの利用、送迎なども行っています。最近では電話参加の方のアイデアで文通も始まりました。同じ場所にいなくても交流ができ、話の中で発見もあります。皆さん便箋を選んで文字を書くのを楽しんでいます。

4月から新しいスタッフが加わり、新たな気持ちで、利用される方が安心して過ごせる居場所になるよう工夫を続けます。ほんの短い時間でも、気軽に見学に来ていただけたら嬉しいです。



東部圏域の不登校ひきこもり支援 居場所「なごみ」



4月から「なごみ」ではスタッフが少しく変わり、新たなメンバーで開室しています。春になり、久しぶりに顔を見せてくれるようになった利用者さんもいて、全体の雰囲気に変化が出てきたように思います。最近の活動では、以前からやっていた「カタン」というボードゲームに加えて、任天堂Wiiと編み物の活動をよくしています。「スーパーマリオブラザーズ」が上手な利用者さんの見事なプレイに「すごい！」と驚くばかりです。1人でできるゲームですが、利用者さん同士でゲームをワイワイと楽しむことも増えました。上手な人が苦手な人を助けたり、ゲームのコツを教えたり、メンバー同士の関わりが自然とうまれるのが素敵だなと思います。初めて編み物にチャレンジされている利用者さんは、最初は慣れないかぎ針の扱いに苦戦していましたが、練習してどんどん上達されています。いずれは、カバンといった作品にもチャレンジしたいなど計画中です。

調理の企画も引き続き行っています。最近はお焼きや、カステラ、焼きそばを作りました。毎月みんなで話し合っ「来月は何にしよう」とメニューを決めています。調理の回数を重ねることに慣れていき、「この料理だったら時間かけずにできるんじゃないか」と意見を出してくれるが増えて、頼もしい限りです。



今後も「なごみ」では、こういった活動を通して、皆さまが居心地よく安心して過ごせる場所を目指していきます。

新入職 Be サポスタッフ ご挨拶

今年度から Be サポートで勤務をしています。公認心理師の原川です。

働き始めて1か月半ですが、先輩方やクライアントさん、子どもたちに、日々多くのことを学ばせていただいています。また、沼津や伊豆の地域の方々から、優しい人柄を感じています。

まだまだ未熟ですが、出来ることを精一杯させていただきます。よろしくお願いいたします。



なごみでのマリオカート時に「キノピオ」を使う原川さん

なごみメンバーさんが描いてくれました!(^^)!